

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育・学校心理学	ET		13815	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	学校心理士SV、臨床心理士、公立小教員			

授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方を理解する。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す

授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバーグの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に合った適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

学内規定に準ずる

テキスト

濱田誠二郎著『心理学を生かしたクラスづくり』 株式会社ERP

参考図書

授業中に紹介する

留意事項

マスコミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法（中高）			13854	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純／堀 正人	選択	2	神戸市教育委員会指導課指導主事			

授業の到達目標

教育課程の意義や編成の方法を学び、カリキュラムマネジメントの重要性を理解する。また、教育課程における総合的な学習の時間の位置づけや意義を理解し、指導計画の作成の仕方を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

教育課程の果たす役割や機能、意義を理解し、公的な性格を有する学習指導要領を学ぶ。さらに、学習指導要領の歴史的な変遷や諸外国との教育制度の比較から、現在の教育課程の意図を考察する。そして、教育課程における「総合的な学習の時間」の模擬編成に取り組む。

授業計画

- 1 はじめに、教育課程とは
- 2 教育課程に関する法律
- 3 教育課程の歴史(学習指導要領の変遷)
- 4 総合的な学習の時間について
- 5 総合的な学習の時間の実践事例Ⅰ
- 6 総合的な学習の時間の実践事例Ⅱ
- 7 総合的な学習の時間とカリキュラムマネジメント
- 8 地域社会との連携と総合的な学習の時間のあり方
- 9 各学校種における教育課程(幼稚園、小学校)
- 10 各学校種間における教育課程(中学校、高等学校、特別支援学校)
- 11 教育課程の編成と評価
- 12 学校種間の連携・部活動と教育課程
- 13 今日の課題と教育課程
- 14 諸外国の教育課程(欧米・中・韓)
- 15 教育課程の模擬編成演習とプレゼンテーション、まとめ

授業の方法

毎回レジメを配布し、授業を行う。

準備学修

図書館等で、日本や諸外国の教育制度等の参考文献を調べておく

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

欠席について

事前、事後に届け出る

テキスト

中学校学習指導要領解説（総則編）最新版
中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）最新版

参考図書

今、求められる力を高める総合的な学習の時間（小）文部科学省編 教育出版
今、求められる力を高める総合的な学習の時間（中）文部科学省編 教育出版
今、求められる力を高める総合的な学習の時間（高）文部科学省編 教育出版

留意事項

配布したレジメや資料をファイルしておくこと

教員連絡先

mhorik@kaisei.ac.jp
toga@kaisei.ac.jp

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等社会科指導法			17665	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
山本 博	選択	2	1973年～2011年神戸市立小学校に38年間勤務			

授業の到達目標

小学校における社会科教育に必要な実践的指導力を身に付ける。
 (1) 小学校学習指導要領(社会)の目指す理念や目標を理解することができる。
 (2) 小学校学習指導要領(社会)の変遷と今求められている社会科の学力について理解することができる。
 (3) 具体的な資料を用いた学習指導案を作成し、模擬授業を展開することができる。
 (4) 社会の出来事について関心を持つことができる。
 このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA(自立)とI(知性)を養う。

授業の概要

小学校学習指導要領(社会)の変遷を概観し、現行の小学校学習指導要領(社会)に基づき、教育内容と指導法を考察する。教科の特性に応じた情報機器の有効な活用方法や教材研究の方法や学習指導法、評価方法の修得を目指す。グループワークとして、事例研究や模擬授業、教材研究の発表の場を設定する。さらに、学習者の視点に立った実践的な学びを展開することで、教師としての授業力、実践力を高める。

授業計画

- 1 社会科とは何か、小学校社会科の成立と変遷
- 2 小学校学習指導要領社会の構成
- 3 小学校学習指導要領社会の内容
- 4 社会科教育の今日的課題
- 5 社会科の教材研究と授業の構想:資料の活用と教材化
- 6 社会科の教材研究と授業の構想:授業の仕組みと展開
- 7 社会科の教材研究と授業の構想:学習指導案の書き方と授業の見方、評価
- 8 地域学習の教材研究と授業の構想:教材研究と学習指導案の作成(情報機器及び教材の活用を含む)(3、4年 身近な地域や市の様子 県の様子 生産や販売の仕事 安全を守る働き)
- 9 地域学習の教材研究と授業化:模擬授業と相互評価(身近な地域や市の様子、地域に見られる生産や販売の仕事、地域の安全を守る働き)
- 10 地域学習の教材研究と授業化:模擬授業と相互評価(市の様子の移り変わり、県の様子、県内の特色ある地域の様子)
- 11 地域学習の教材研究と授業化:模擬授業と相互評価(人々の健康

- や生活環境を支える事業、自然災害から人々を守る活動、県内の伝統や文化、先人の働き)
- 12 地理的、現代社会の仕組みや働き、歴史的学習の教材研究と授業の構想:教材研究と学習指導案の作成(5、6年 国土の様子と国民生活、政治の働き、歴史的な事象、自然環境と国民生活との関連、世界と日本の役割)
 - 13 地理的環境と人々の生活、現代社会の仕組みや人々の生活、歴史と人々の生活学習の教材研究と授業化:模擬授業と相互評価(国土の様子と国民生活、国土の自然環境と国民生活との関連、農業や水産業における食料生産)
 - 14 地理的環境と人々の生活、現代社会の仕組みや人々の生活、歴史と人々の生活学習の教材研究と授業化:模擬授業と相互評価(工業生産、情報と産業との関わり、国土の自然環境と国民生活との関連)
 - 15 地理的環境と人々の生活、現代社会の仕組みや人々の生活、歴史と人々の生活学習の教材研究と授業化:模擬授業と相互評価(政治の働き、グローバル化する世界と日本の役割、歴史上の主な事象)

授業の方法

講義にディスカッションと発表を多く取り入れる。

準備学修

「Webで参照すること。」

課題・評価方法、その他

レポート提出(全3回)を求め、講義の中でフィードバックを行う。
 『平常点50%、定期試験50%』

欠席について

大学の規定通り

テキスト

小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編(文部科学省)

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等算数科指導法			17669	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校で38年教員をする。 (算数を専門的に研究し、神戸市算数研究会部長を務める)			

授業の到達目標

算数科の教育内容と目標、及び指導法を習得する。教材研究、模擬授業を通して、子どもの主体的・対話的で深い学びを進めるための授業づくりの工夫や留意点を理解する。
 このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI(知性)の育成を目指す。

授業の概要

算数科の目標、内容、系統性、各領域の特徴を学ぶ。子供のつまづきやすい教材を取り上げ、具体的な指導法を現場での実践成果と絡ませながらプレゼン、討議する。学校現場での45分授業の構成、指導案の書き方を学び、模擬授業も行う。

授業計画

- 1 オリエンテーション・算数科の目標(その趣旨及び要点)
- 2 算数科の内容と構成(領域と概観)
- 3 授業45分間の構成上の留意点
- 4 第1学年の目標及び内容
- 5 第2学年の目標及び内容
- 6 第3学年の目標及び内容
- 7 学習指導案の書き方(1)指導案を学ぶ
- 8 学習指導案(2)指導案を書く
- 9 第4学年の目標及び内容
- 10 第5学年の目標及び内容
- 11 第6学年の目標及び内容
- 12 低学年 模擬授業とふりかえり
- 13 中学年 模擬授業とふりかえり
- 14 高学年 模擬授業とふりかえり
- 15 算数科内容の取扱いまとめと考査

授業の方法

講義と指導法についてのディスカッション、さらに模擬授業、事後の討議などの活動を大切にしていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題 レポートの提出、学習指導案の提出、模擬授業を求め、講義の中でフィードバックを行う。
 評価方法 平常点50%、定期試験50%

欠席について

欠席1回につき4点減点する。

テキスト

「小学校学習指導要領解説 算数編」 文部科学省(H29.6)

参考図書

必要に応じて随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
特別活動論	教職小		17681	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校勤務。特別活動の授業発表・研究発表あり。 神戸市で特別活動担当指導主事経験あり。			

授業の到達目標

特別活動の意義、役割、今日の課題について学ぶ。子供の自己実現、人間関係づくり、望ましい集団活動のあり方について専門的な知識や指導力を身につける。

kaiseiパーソナリティのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

教育課程における特別活動の理念を把握し、目標と内容を理解する。学級活動の模擬体験や模擬授業を行う。さらに学校現場での実践、学級会活動等での映像を通して子供の姿を捉え、特別活動の理解を深めていく。

授業計画

- 1 オリエンテーション、改訂の趣旨と目標
- 2 基本的な性格と意義
- 3 学級活動の目標と内容
- 4 学級活動の指導計画
「学級や学校における生活づくりへの参画」の模擬授業
- 5 学級活動の指導計画
「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」の模擬授業
- 6 学級活動の内容の取扱い
「人 人のキャリア形成と自己実現」の模擬授業
- 7 児童会活動の目標と内容
- 8 児童会活動の指導計画と内容の取扱い
- 9 クラブ活動の目標と内容、指導計画と内容の取扱い
- 10 学校行事の目標と内容
- 11 学校行事の指導計画と内容の取扱い
- 12 指導計画の作成に当たっての配慮事項 特別活動における主体的・対話的で深い学び
- 13 指導計画の作成に当たっての配慮事項 全体計画・年間計画の作成とその留意点
- 14 内容の取扱いについての配慮事項
- 15 まとめと、定期試験

授業の方法

講義と演習（模擬授業、ディスカッション、プレゼンテーション

等）を合わせて、創造的思考力を養う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題：与えられたテーマについて自分の考え、感想を含めたプレゼン発表を行う。また模擬授業を行い批評会を行う。

評価方法：平常点50% 定期試験50%

欠席について

欠席は1回につき4点減点。

テキスト

小学校学習指導要領解説（平成29年告示）「特別活動」 文部科学省

参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
特別支援教育（幼小）			17683	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
濱田 誠二郎	選択	2	公立小教員、学校心理士SV、臨床心理士、 上級教育カウンセラー、教育委員会			

授業の到達目標

特別支援を必要とする幼児・児童・生徒の実態を理解したうえで、個別の指導計画及び教育支援計画の立案方法を理解する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

特別支援を必要とする幼児・児童・生徒への理解を深め、より良い教育課程や支援を理解する。発達に課題があるなど障害種にかかわらず、幼児・児童・生徒が「生きる力」を身に付けることができるよう、個別の教育的ニーズを理解し、教員として、また、学校がチームとして求められる支援の方法を考察する。

授業計画

- 1 特別支援教育（インクルーシブ教育含む）の理念や制度
- 2 発達障害を含む特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の困り感
- 3 発達障害を含む特別な支援が必要な幼児・児童・生徒の心の発達
- 4 障害のある幼児・児童・生徒の困り感
- 5 障害のある幼児・児童・生徒の家族、特に母親の気持ちに寄り添う支援技術
- 6 障害のある幼児・児童・生徒の保護者・兄弟姉妹・祖父母等の障害受容
- 7 合理的配慮の必要性和生活上の困難に対し主体的に取り組む自立活動
- 8 障害のある幼児・児童・生徒の教材選定
- 9 通常学級でのスモールステップ支援と通級指導による指導の時間
- 10 構音障害等通級教室の活用によるチーム支援
- 11 様々な障害種、重複障害と個別の教育支援
- 12 特別支援教育コーディネーター等との連携
- 13 障害種に応じた様々な関係機関等との連携
- 14 障害のある幼児・児童・生徒以外の個別的教育支援
- 15 外国から移住してきた幼児・児童・生徒の学習、生活面での支援
- 16 定期試験

授業の方法

講義、発表とワークショップ

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

定期試験80%、授業最後に提出するレポートと振り返り20%

欠席について

学内の規定に準ずる

テキスト

必要に応じて指示する

参考図書

子どもの発達障害と情緒障害（杉山登志郎、講談社）。

留意事項

必要な場合授業時に指示する。

教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法			17684	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
都賀 純	選択	2	公立小学校勤務。指導主事経験あり。 総合的な学習の時間では、国際理解のテーマで研究発表会も行う。			

授業の到達目標

教育課程の意義、法的根拠、外観を理解する。現行の教育課程編成の要点、配慮事項について、発表・討議を通して深めていく。また、総合的な学習の時間の意義や目標、各小学校の目標に沿った指導計画の作成、授業づくり・指導法についてのポイントを明確にしていく。

KaiseiパーソナリティーのI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

学校現場での具体的な教育課程、カリキュラム・マネジメントの進め方を伝えていく。法令や学習指導要領解説と学校現場の実践と成果（そこにある課題や悩み、子供たちの姿、地域の教育力）とをつないで学生の理解を図っていく。

また、総合的な学習の時間の指導法においては、目標に基づいた指導計画、単元計画の作り方、事例研究、指導案作りを進めていく。

授業計画

- 1 教育課程改定の経緯と基本原則
- 2 教育課程の基準
- 3 学習指導要領の改訂の変遷
- 4 特色ある教育の推進とカリキュラム・マネジメント
- 5 教育課程の編成
- 6 教育課程の授業改善
- 7 教育課程の改善と学校評価（教育課程におけるPDCA）
- 8 児童の発達の支援（発達支援と個に応じた指導の充実）
- 9 道徳教育推進上の配慮事項（豊かな体験活動、家庭・地域社会・学校間の連携）
- 10 総合的な学習の時間の歴史と目標
- 11 総合的な学習の時間の指導計画
- 12 総合的な学習の時間の単元計画
- 13 総合的な学習の時間の実践と評価
- 14 総合的な学習の時間の指導の具体的事例に学ぶ
- 15 教育課程論と総合的な学習の時間の指導法の振り返り・定期試験

授業の方法

学生の発表・論述を大切に、そこから生まれる疑問について理解を深めていく。学校現場での具体的な実践を常にはさむことで、現

場での取り組みについて共感を深めていく。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題：与えられたテーマに対して自分の考え、感想を含めたプレゼン発表を行う。

評価方法：平常点50% 定期試験50%

欠席について

欠席は1回につき4点減点。

テキスト

小学校学習指導要領解説（平成29年告示）「総則」「総合的な学習の時間」 文部科学省

参考図書

必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

出席と授業態度を重視する。積極性と意欲を持って、授業に臨むこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育・教職実践演習（幼・小）			17686	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
大岸 啓子／佐原 信江	選択	2	公立小学校教員、公立幼稚園教員			

授業の到達目標

保育・教職課程科目の学修や学校園での現場学習等を通じて、保育士・教員として必要な資質能力が、実践力としてどのように統合されたかを最終的に確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とI（知性）の育成を目指す。

授業の概要

実習で学んだことを振り返り、課題を確認するとともに保育者・教育者としての役割と責務についての認識を深めていく。職務への使命感、社会性や対人関係能力、また、学級経営能力や指導力を高め、保育者・教育者としての資質の向上を目指す授業を進める。

授業計画

- 1 授業概要の説明、受講の心構え、これまでの学修の振り返り
- 2 保育・教職の意義や保育士・教員の役割、職務内容、子どもに対する責任等についての討議
- 3 社会性や対人関係能力（職場、保護者・地域との人間関係の構築等）についての講義・グループ討議
- 4 幼児・児童理解や学級経営についての講義・グループ討議
- 5 保育計画案・学級経営案の作成
- 6 保育計画案・学級経営案の発表とグループ討議
- 7 学校園現場の見学・調査①
- 8 学校園現場の見学・調査②
- 9 社会性、対人関係能力、幼児・児童理解、学級経営についてのグループ討議
- 10 保育・教科の指導力についての講義・グループ討議
- 11 模擬保育・模擬授業と討議①
- 12 模擬保育・模擬授業と討議②
- 13 事例研究とロールプレイング①
- 14 事例研究とロールプレイング②
- 15 目指す教師像と自己課題の確認

授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

準備学修

事前に課題を提示するので、レポートや作品等を作成すること。具体的な課題については、保育・教職（幼・小）の各担当教員から提示する。

課題・評価方法、その他

①レポートや作品等の提出物については、担当教員による批評とアドバイスをを行う。

②評価方法は平常点70%、定期試験30%とする。

欠席について

欠席は5点減点し、遅刻は2点減点する。

テキスト

各担当教員が参考図書の中から指定する。

参考図書

厚生労働省『保育所保育指針解説』、文部科学省『幼稚園教育要領解説』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』フレイベル館、文部科学省『小学校学習指導要領』、わかば社『教職実践演習』これまでの学びと教師への歩み

留意事項

自己目標・課題をもって意欲的に授業に臨むこと。